平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　ダイコク電機株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　6430　URL　http://www.daikoku.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 栢森　雅勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 丹羽　時重　TEL 052-581-7111
四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,100	70.2	2,118	245.7	2,067	203.1	1,076	346.6
23年3月期第2四半期	16,510	△44.0	612	△84.6	682	△83.6	241	△89.4

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,088百万円　(364.8%)　23年3月期第2四半期　234百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	72.83	—
23年3月期第2四半期	16.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	51,039	26,665	52.1
23年3月期	49,015	26,020	52.9

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　26,586百万円　23年3月期　25,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
24年3月期	—	10.00			
24年3月期(予想)			—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無
平成24年3月期の期末配当につきましては未定としております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	24.7	700	209.0	800	124.6	100	—	6.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	14,783,900 株	23年3月期	14,783,900 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	315 株	23年3月期	315 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	14,783,585 株	23年3月期2Q	14,783,659 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、期末配当金につきましては、先行きが不透明なため引き続き未定とさせていただきますが、今後、配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 3
３．四半期連結財務諸表 4
(1)　四半期連結貸借対照表 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 7
(3)　継続企業の前提に関する注記 8
(4)　セグメント情報等 8
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 9

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業生産は持ち直しているものの東日本大震災の影響により雇用情勢や個人消費は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、震災後の電力供給不足対応として輪番休業を実施した地域もあり、パチンコホールにおいて集客や稼動の減少などが心配されましたが、５月以降に大きな影響はなく、店休時に小規模な設備投資を行う動きも見られる一方で、パチンコ遊技機から好調なパチスロ遊技機への入替が引続き行われました。また、警察庁生活安全局保安課が発出した「広告・宣伝規制の運用方針の見直し」が８月から施行され、イベント実施や情報公開については慎重な動きとなりました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチスロ演出に有効な情報公開機器「ＢｉＧＭＯ」を中心に、呼び出しランプ「ＩＬ－ＡＷ」、システムの中核となるホールコンピューティングシステム「ＣⅡ」の提案を推進しました。制御システム事業におきましては、開発業務の効率向上と品質厳守を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高281億円（前年同期比70.2％増）、営業利益21億18百万円（同245.7％増）、経常利益20億67百万円（同203.1％増）、四半期純利益10億76百万円（同346.6％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（情報システム事業）

当事業の第２四半期連結累計期間は、ＭＩＲＡＩＧＡＴＥネットワークを活用したホール支援サービス「ＣⅡスタンダード」の拡大を推進し、パチンコ遊技機からパチスロ遊技機への入替の拡大にあわせ情報公開機器「ＢｉＧＭＯ」の導入をはかることで、ホールコンピューティングシステム「ＣⅡ」の導入にも繋がりました。

この結果、当事業の売上高は115億53百万円（前年同期比1.5％増）、セグメント利益は17億65百万円（同9.7％減）となりました。

（制御システム事業）

当事業の第２四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機市場は、震災による半導体供給への影響もあり販売台数が減少いたしましたが、当事業は機種の評価が高く販売台数が増加しました。また、下半期に予定していました機種が第２四半期の販売となったこともあり、好調な業績となりました。

この結果、当事業の売上高は160億16百万円（前年同期比270.9％増）、セグメント利益は14億35百万円（前年同期セグメント損失４億88百万円）となりました。

（アミューズメントコンテンツ事業）

当事業の第２四半期連結累計期間は、コンシューマゲームにおいて、前連結会計年度に受託した大型案件を中心に開発を行いました。

この結果、当事業の売上高は５億36百万円（前年同期比34.2％減）、セグメント損失は１億10百万円（前年同期セグメント利益41百万円）となりました。

（注）セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億24百万円増加の510億39百万円となりました。その主な要因は、前連結会計年度において販売予定の製品等が当第２四半期連結累計期間において実現したことにより、たな卸資産は減少しましたが、前第４四半期連結会計期間に比べ当第２四半期連結会計期間の売上が好調に推移したことにより現金及び預金と売上債権が増加したことと、新社屋の建設により有形固定資産が増加したことによります。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ13億79百万円増加の243億74百万円となりました。その主な要因は、当第２四半期連結累計期間の売上が好調に推移したことに伴う仕入債務と未払法人税等が増加したことによります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上があったことにより利益剰余金は増加し、前連結会計年度末に比べ６億44百万円増加の266億65百万円となりました。自己資本比率は52.1％（前連結会計年度末比0.9ポイント下落）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月13日に公表いたしました通期の業績予想を下記の通り修正いたしました。詳細につきましては平成23年11月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	38,000	△1,500	△1,500	△1,500	△101.46円
今回修正予想(B)	43,000	700	800	100	6.76円
増減額(B-A)	5,000	2,200	2,300	1,600	－
増減率(％)	13.2	－	－	－	－
(ご参考)前期実績(平成23年３月期)	34,483	226	356	△342	△23.14円

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,080,578	15,102,748
受取手形及び売掛金	8,341,400	11,748,525
有価証券	40,000	10,000
商品及び製品	3,995,074	3,167,762
仕掛品	948,938	238,039
原材料及び貯蔵品	2,645,029	1,969,863
繰延税金資産	109,726	28,373
その他	1,419,409	735,397
貸倒引当金	△30,874	△37,012
流動資産合計	31,549,283	32,963,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,842,281	4,561,835
土地	4,389,713	4,297,515
その他（純額）	2,589,136	1,547,744
有形固定資産合計	9,821,132	10,407,095
無形固定資産		
ソフトウエア	1,746,335	1,595,154
その他	138,422	137,695
無形固定資産合計	1,884,757	1,732,850
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,343,117	2,565,379
投資不動産（純額）	891,981	885,505
長期預金	600,000	600,000
その他	2,138,629	2,100,341
貸倒引当金	△213,291	△215,242
投資その他の資産合計	5,760,436	5,935,984
固定資産合計	17,466,326	18,075,929
資産合計	49,015,609	51,039,626

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,196,475	12,384,575
短期借入金	5,325,000	5,825,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	753,854	1,068,607
役員賞与引当金	43,328	82,786
その他	3,004,789	2,473,480
流動負債合計	20,723,447	22,234,448
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,400,000
退職給付引当金	128,978	154,838
役員退職慰労引当金	344,546	356,238
その他	198,129	228,824
固定負債合計	2,271,655	2,139,901
負債合計	22,995,103	24,374,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	24,596,191	25,229,325
自己株式	△628	△628
株主資本合計	25,949,571	26,582,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,013	4,190
その他の包括利益累計額合計	4,013	4,190
少数株主持分	66,921	78,380
純資産合計	26,020,506	26,665,276
負債純資産合計	49,015,609	51,039,626

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	16,510,797	28,100,878
売上原価	10,698,380	18,988,379
売上総利益	5,812,417	9,112,499
延払販売未実現利益戻入	7,576	925
延払販売未実現利益控除	－	－
差引売上総利益	5,819,993	9,113,424
販売費及び一般管理費	5,207,233	6,995,170
営業利益	612,760	2,118,253
営業外収益		
受取利息	14,671	6,259
受取配当金	5,446	5,458
不動産賃貸料	40,191	36,926
その他	60,912	52,016
営業外収益合計	121,222	100,660
営業外費用		
支払利息	24,283	25,051
支払手数料	－	102,000
その他	27,643	24,541
営業外費用合計	51,927	151,593
経常利益	682,056	2,067,320
特別利益		
固定資産売却益	1,666	1,896
貸倒引当金戻入額	3,915	－
その他	1,206	－
特別利益合計	6,788	1,896
特別損失		
固定資産売却損	4,235	9,759
固定資産除却損	18,374	72,036
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,615	－
その他	654	－
特別損失合計	52,879	81,795
税金等調整前四半期純利益	635,965	1,987,422
法人税、住民税及び事業税	593,906	1,040,349
法人税等調整額	△192,568	△141,028
法人税等合計	401,337	899,320
少数株主損益調整前四半期純利益	234,628	1,088,101
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△6,441	11,459
四半期純利益	241,070	1,076,641

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	234,628	1,088,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△488	176
その他の包括利益合計	△488	176
四半期包括利益	234,140	1,088,277
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,582	1,076,818
少数株主に係る四半期包括利益	△6,441	11,459

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメントコンテンツ事業	計	（注１）	（注２）
売　上　高						
外部顧客への売上高	11,377,661	4,317,825	815,310	16,510,797	－	16,510,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,189	361	－	2,551	△2,551	－
計	11,379,850	4,318,187	815,310	16,513,348	△2,551	16,510,797
セグメント利益又は損失(△)	1,954,552	△488,283	41,105	1,507,373	△894,613	612,760

（注）１　セグメント利益又は損失(△)の調整額△894,613千円には、セグメント間取引消去714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△895,327千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメントコンテンツ事業	計	（注１）	（注２）
売　上　高						
外部顧客への売上高	11,552,212	16,015,994	532,671	28,100,878	－	28,100,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,564	432	3,408	5,405	△5,405	－
計	11,553,777	16,016,426	536,079	28,106,283	△5,405	28,100,878
セグメント利益又は損失(△)	1,765,782	1,435,996	△110,627	3,091,151	△972,897	2,118,253

（注）１　セグメント利益又は損失(△)の調整額△972,897千円には、セグメント間取引消去8,165千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△981,063千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。